

An aerial photograph of Shenyang, China, showing a dense urban skyline with numerous skyscrapers in the background. In the foreground, there is a large, well-maintained park with a winding path, green lawns, and a small lake or pond. The sky is blue with scattered white clouds.

瀋陽市の国家環境保全モデル都市
創設活動の進捗状況

瀋陽市環境保護局



1. 瀋陽市の国家環境保全モデル都市 創設活動の基本状況



瀋陽市環境保護局

SHEN YANG ENVIRONMENTAL PROTECTION BUREAU OF CHINA



2009年4月1日、李長春・中央政治局常務委員が川崎を視察した際、当市に、川崎市の経験を全面的に学び、国家環境保全モデル都市を創設するようという重要な指示を出した。共産党遼寧省委員会(以下「省委」)の張文岳書記、陳政高省長がその指示を重く受け止め、即座に徹底するよう当市に求めた。瀋陽市共産党委員会および市政府は直ちに対応し、市共産党委員会常務委員である邢凱瀋陽市副市長が率いる視察団を発足させ、川崎市の詳細な視察を行い、瀋陽市国家環境保全モデル都市創設活動の初歩的な活動計画を制定した。その後、省委および省政府が、「川崎市の経験から学ぶ瀋陽市国家環境保全モデル都市創設に関する報告書」を李長春氏に提出した。これに対し、李長春氏、李克強副総理が、それぞれ重要な指示・回答をした。6月17日、環境保護部が、日本の環境省と「中国瀋陽市・日本川崎市の環境友好型都市造りに関する協力覚書」を締結した。





中央指導者の指示精神に従い、当市の実情に合わせた当市の環境保全モデル都市創設活動計画の目標は、下記のとおりである。

循環型経済、エコ工業と低炭素理念を特徴とする国家エコ都市の構築を総目標とし、約5年の年月を掛けて**2012年**に国家エコ都市を建設し、当市を全国で五つのベンチマークになる環境保全モデル都市とする。

- エコ工業モデル都市
- 静脈産業モデル都市
- エコ環境改善モデル都市
- 政府環境管理モデル都市
- 環境保護への公衆参与モデル都市



エコ工業モデル都市

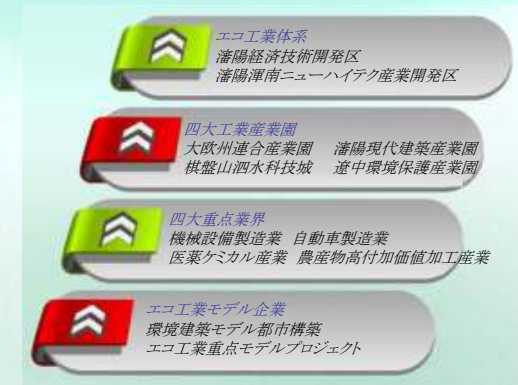
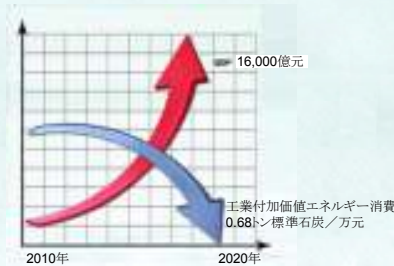
瀋陽市は、瀋陽経済区が国家新型工業化総合改革試験区に格上げされるという絶好の機会を掴み、科学技術と体制革新を保ちつつ、従来型工業の革新に取り組みながら、エコ工業を発展させて経済成長方式を変化させ、工業のモデルチェンジと持続可能な発展を全面的に促進する。産業集中区と園区建設と合わせ、瀋陽技術開発区、渾南新ハイテク産業開発区を国家級環境工業園区として建設する。遼中環境保護産業園、大東欧州連合産業園、瀋陽現代建築産業園および棋盤山泗水科技城をそれぞれ全国一流の静脈産業モデル基地、中国北方地域において最も重要な自動車部品生産基地、国家現代建築産業と住宅産業化モデル基地、東北アジアバイオテック産業集中基地として建設。同時に、設備製造業、自動車産業、医薬ケミカル、農産物高付加価値加工の4つの重点産業でエネルギー消費が国内最先端水準に達する省エネモデル企業を数多く構築し、全国でも率先した先端技術で、環境にやさしく、資源を節約し、総合的な利用を可能にする環境工業体系を確立する。

1. 計画目標

2012年に企業の移転、アップグレードと改造作業を基本的に完成する。重点として、二つの国家級総合類園区と四つの市級業界類園区で国家級生態工業園区建設を全面的に実施し、環境工業園で全市の工業エコ化改造を引っ張っていく新局面を確立する。

2015年に産業構造最適化調整の実質的な進展を遂げてGDPの速やかな成長を保持すると同時に、工業付加価値増加額によるエネルギー消費と汚染物質総量を共に低減させ、経済成長と資源・エネルギー消費との「分離」を効果的に達成する。先端技術で環境にやさしく、資源を節約して総合的な利用を可能にする環境工業体系の基本整備を行う。

2020年に、世界一流の先端設備製造業を中心とし、電子情報、自動車およびその部品、航空製造、現代建築を支えとするエコ工業体系を形成し、単位工業付加価値増加額当たりのエネルギー消費および汚染物質排出率において、川崎市などの国際水準を達成する、またはそれに近づける。



2. 重要な任務およびその内容

1. 瀋陽エコ工業体系を構築する。二つの総合類と四つの業界類国家級環境工業園区を建設し、送風機、工作機械、完成車製造、VCと苛性ソーダ、ビールなど重点製品の単位当たり消費量における国内最高水準を達成する。工業園区、重点業界およびモデル企業で、全市工業エコ化改造を推進するようにする。

2. 工業企業昇格プロジェクト、プロジェクトエンジニアリング、買収プロジェクト、産業クラスタープロジェクトおよび省エネと後進淘汰プロジェクトなど五つの工業プロジェクトを手本とし、当市の新型工業化発展の進捗を促進する。

—情報化で工業化を牽引し、工業化により情報化を促進する。電子情報産業を先導とする新興産業クラスターを絶えず発展・拡大させ、企業情報化水準を速やかに高める。2015年に、大型工業貿易企業の生産および管理情報化システムのカバー率を100%にする。特定規模以上の中小企業の生産および管理情報化システムの応用率を60%にする。2020年に、特定規模以上の工業企業が、基本的に管理情報化を実現し、電子商取引を普及させるようになる。

—産業レイアウトの調整と最適化を行い、集約型発展を実現する。2015年に、百億産業クラスターが23に達するようにする。

—資源利用効果を著しく高め、持続可能な発展力が絶えず強まる。2015年に、工業付加価値増加額当たりのエネルギー消費を0.785トン標準石炭に下げ、工業用水リサイクル率を90%にする。2020年に、工業付加価値増加額当たりのエネルギー消費を0.68トン標準石炭に下げ、工業用水リサイクル率を95%にする。



環境保護産業モデル都市

瀋陽市は、世界省エネ・環境保護産業の速やかな発展、国による省エネ・排出削減への投入拡大、革新型国家戦略の実施などの大きな機会と密接に関係し、地域、技術設備と資源の優位性を十分に活かして、財政・税収優遇支持政策の健全化と完備化を通じて技術革新と体制革新を実施し、当市の環境保護産業の「飛躍式発展」、「革新式発展」および「グリーン発展」を実現し、年間生産高が3500億元超の新興産業を築き、瀋陽経済が発展する上での成長極になる。

1. 計画目標

2012年に、日本などの国際環境保護産業の先端技術を導入して、遼中環境保護産業基地で中日、中仏などの国際省エネ・環境保護産業園と遼寧近海東北アジア資源循環技術城を建設し、全市省エネ・環境保護産業の規模を確保し、生産高800億元を達成する。

2015年に、産業管理監督政策を改善し、自主研究開発を効果的にを行い、環境保護産業クラスターを形成し、生産高1700億元を達成する。

2020年に、東北アジア最大の環境保護産業基地を形成し、産業クラスターの優位性を著しく活かして、生産高3500億元を達成する。

2. 計画内容および重要な任務

・技術で牽引して、自主知的財産権と革新技術製品を中心とした東北アジア資源循環技術城を建設する。

・現地に応じて、瀋陽遼中近海経済区で100平方キロメートルの環境保護産業基地を計画し、瀋陽経済技術開発区の設定備製造業と渾南新区新ハイテク産業の優位性を活かして、積極的に省エネ・環境保護設備産業と新エネルギー産業を発展させる。

・国際提携により国際的な先端環境保護産業技術を取り入れ、中日、中仏など国際提携プラットフォームを整備する。

・省エネ・消費削減を図り、エネルギー合同管理モードを強力に推進し、エネルギー高消費企業に省エネ・消費低減活動を実施させ、地域総生産額の単位当たり年間エネルギー消費を5%下げる。



エコ環境改善モデル都市

住みやすい環境と都市を建設することは、既に世界各国が追求する目標になっている。瀋陽によるエコ環境改善モデル都市の建設は、環境、経済、社会の持続可能な発展に全面的に配慮して、水、緑など重点分野に注目し、弱点を把握してさまざまな措置を講じ、中国国内最大の改善幅および最も速い改善の目標を実現し、環境・景色が美しく、北方らしさを持ったエコ瀋陽を建設する。同時に、瀋陽市によるエコ環境改善モデル都市の建設では、日本の川崎市の経験を活かして最終目標と成果を達成し、中国国内のその他の住みやすい環境・都市の建設モデルを樹立して、有益な経験を提供している。

1. 計画目標

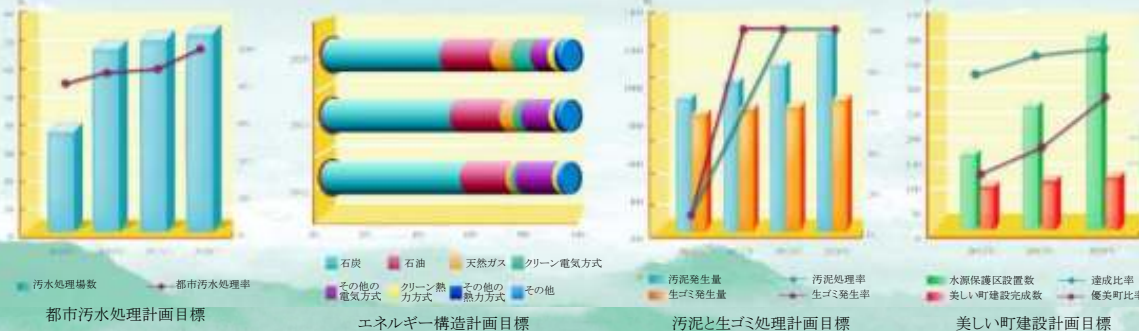
2012年に、エコ環境品質が全て国家エコ都市標準に達するようにし、第12期全国運動会の開催に優れたエコ環境を創出する。

2015年に、基本的にエコ環境改善モデル都市の建設を達成し、主要な環境問題を効果的に解決し、都市エコ環境・景観および都市快適性を著しく向上させる。

2020年に、環境保全モデル都市および住みやすい環境・モデル都市の建設指標ならびに国家の「住みやすい都市に対する科学的な評価標準」に定められている美しい環境指標要求を達成し、人と自然との高水準な調和および経済社会環境の調和と持続的な発展を達成する。

2. 計画主要内容と重要な任務

重点として、水、大気、固体廃棄物と農村エコ環境の4分野の総合的な環境改善を通じて、エコ環境改善モデル都市を建設する。



三環以内に「一軸、二環、四城、九湖」の理想を実現し、中心区内水域面積率が10%以上に達し、水質が4類超になるようにする。南運河、渾河の通行を実現すると共に北運河まで徐々に拡大し、「都市と森の共存、水と緑が織り成す」北方ならではの現代化大都市の景観を創出し、山と水、そして文化と競争力がある住みやすいエコ都市を構築する。

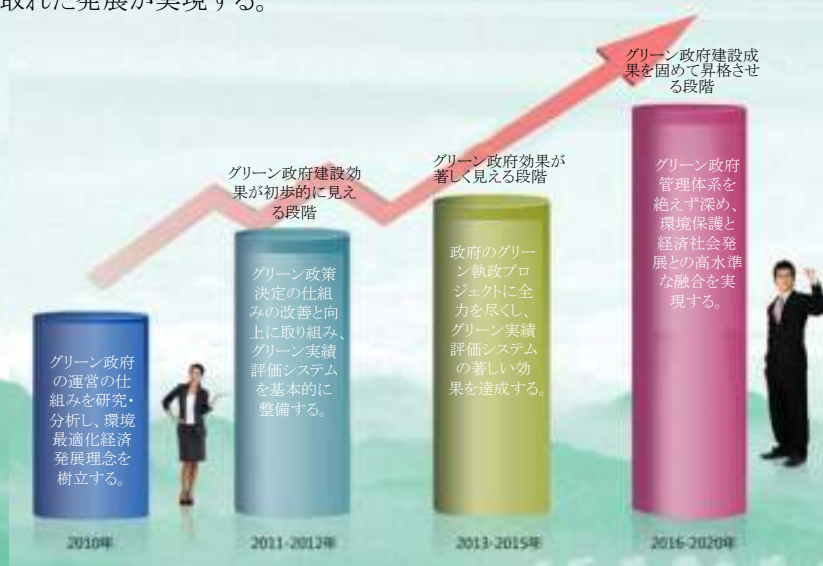


政府環境管理モデル都市

科学的発展という概念の踏み込んだ実現により、政府の環境管理体制と仕組みの革新を動力とした政府執政理念、執政行為、内部運営管理の3レベルからグリーン政府の建設を以下のように展開する。1) 政府実績評価におけるグリーンの比重を持続的に拡大し、省エネ・排出削減を強力に展開する、2) 率先して環境経済政策を実施し、政府によるグリーン仕入を絶えず深め、資源を節約し、環境にやさしいグリーン政府機関を建設する、3) グリーン交通やグリーン建設などあらゆる分野をカバーする環境管理建設に取り組み、経済構造の最適化を促進する、4) グリーン経済を発展させ、住居環境状況を改善し、政府のイメージアップを図る、5) 経済社会資源と環境とのバランスのよい持続可能な政策総合決定の仕組みを形成し、環境保護と経済社会発展との高水準な融合を実現する。このようにして瀋陽旧工業基地の全面的な振興を強力に保障し、全国で政府環境管理作業の手本を残す。

1. 計画目標

2012年に、各級政府が執政理念、執政行為、内部運営のグリーン建設作業を全面的に展開し、環境と発展の政策総合決定の仕組みとグリーン実績評価システムを基本的に整備し、政府の環境管理水準と効果を著しく高める。2015年に、グリーン政府建設の各重要任務はいずれも著しい効果を上げ、総合環境管理政策、措置と仕組みが国内最高水準に達するようにする。2020年に、グリーン政府建設の各任務は全体的に推進され、環境と発展の政策総合決定の仕組みが著しい効果を上げ、環境、経済、社会の調和の取れた発展が実現する。



2. 計画内容および主要任務

グリーン政府プロジェクト	具体的なプロジェクト内容
政府グリーン政策決定プロジェクト	1. 政府役人の環境意識を強化し、定期的にグリーン政府幹部教育クラスを開催し、政府の公共環境管理政策決定能力を高め、環境保護で経済発展を最適化させるという中心的な執政理念を実現する。 2. 省エネ・環境保護政策法規制定作業の力を強化し、健全な環境保護法規体系を整備し、グリーン政府に必要な環境法規と法制基礎を確実にする。 3. 環境政策決定の仕組みを整備し、計画環境評価を実行し、政策決定の段階で環境問題を予防する。
政府グリーン執政プロジェクト	4. 無害化、減量化、資源化および産業化を中心として、循環型経済を強力に発展させる。 5. 産業構造の最適化調整を行い、瀋陽市「高汚染・エネルギー高消費名簿」を制定・公表し、遅れた製法と生産能力を淘汰する。 6. 省エネ・環境保護産業の発展を誘導し、省エネ環境保護新技術と新製品の応用・普及を積極的に推進する。 7. 省エネ・排出削減を強力に行い、国の各段階の省エネ・排出削減任務を全面的に達成する。
政府グリーン評価プロジェクト	8. 「瀋陽市住居建築省エネ設計標準」を執行し、国家レベルのグリーン建築を普及させる。 9. 都市高速バスと地下鉄の建設を加速させ、純電気省エネ路線バス代替プロジェクトを実施する。2015年に純電気路線バス比率100%を達成し、「地下鉄、路線バスに自転車を加える」というグリーン外出方式を推進する。 10. 環境経済政策、環境汚染責任保険と汚染物質排出取引、企業環境行為と銀行信用連動の仕組み、エコ補償の仕組みなどを実施する。
政府グリーンサービスプロジェクト	11. 政府実績評価システムのグリーン化を推進し、実績評価では環境実績指標を強化し、環境保護および関連作業の点数と比重を増やし、政府による持続可能な発展戦略の実施を効果的に誘導・監督する。
政府グリーン機関建設プロジェクト	12. グリーン財政投入を拡大する。エコ環境に有利な建設プロジェクトの資金を優先的に手配する。毎年の政府の公共財政支出では優先的に環境保護支出を増やし、政府による環境保護投入の誘導役を發揮し、社会全体による環境保護への投入増を促進し、社会全体による環境保護への投入が同時期GDPの3%超を占めること。
政府グリーン仕入プロジェクト	13. グリーン機関を建設する。ペーパーレス事務を実行する。会議レベルと規模を厳格に抑制する。標準を超える車輛の購入を抑制する。公務用車のエネルギー消費基準を制定する。照明、エアコン、エレベーターなどの電気消費を厳格に管理する。節水施設などを合理的に使用する。 14. 政府グリーン仕入を強化する。技術、サービスが同じであれば、リストにおける環境保護・省エネ製品を優先的に購入する。政府仕入リストにリストアップしているグリーン製品が40%超を占めること。なお、政府がグリーン製品を仕入れる比率を徐々に増やし、グリーン製品の価額が政府仕入総額に占める比重を毎年増やす。



公衆参与モデル都市

瀋陽市が作成した国家モデル都市建設・公衆参与環境計画は、同分野における中国初の地方計画である。計画は、日本で成功した公衆参与経験を参照しながら、瀋陽の実情に応じて「環境公衆参与方式」、「環境公衆参与促進措置」、「環境公衆参与保障体系」を主な枠組みとし、環境権利保障、環境監督管理、環境政策決定への公衆参与の三つの仕組みを通じて、環境建設に参加する公衆プラットフォームと政府環境情報公表プラットフォームの二つのプラットフォームを構築し、環境広報、公衆グリーン活動を促進し、グリーンユニット整備、環境NGOなどの活動を発展させ、瀋陽ならではの先進的な「環境公衆参与モデル都市」を構築する。

1. 計画目標

「3年で効果、5年で大発展、10年で目標達成」の計画に従い、受動的に自分の権利・主張に参加する段階、および政府が主導し公衆が参与・監督管理する段階を経て、最終的に公衆が自発的に政府の政策決定に参加する段階を実現し、日本のような公衆参与水準に達する。



2. 計画内容および重要な任務

公衆参与措置およびプロジェクト	具体的内容
公衆参与環境意識プラットフォームプロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> グリーン生活を促進し、モデル都市「公衆が環境保護に参加するための市民知識マニュアル」を配布する。 企業環境教育促進活動を展開させ、従業員省エネ・排出削減実用マニュアルを配布し、重点企業について環境保護教育活動を行う。 瀋陽市十大公衆参与活動を行う。 盛京環境保護講堂。 グリーン成長計画を実施し、環境保護コースを正常な教育体系に取り入れ、軍事訓練と環境保護との連動教育の仕組みを整備する。 環境教育基地体系建設を加速させ、ネットワーク環境保護教育基地プラットフォーム建設を加速させる。 農村で環境保護教育を行い、農村に入って環境巡回講義活動を行う。
公衆参与情報基礎プラットフォーム構築プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 政府と企業との環境情報公表の仕組みを整備し、情報公開ネットワークプラットフォームを構築する。 「低炭素全国運動森」建設、「低炭素全国運動会」宣伝活動、低炭素生活成果展覧など一連の活動を行う。
公衆自身のグリーン行動プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 環境NGO団体管理方法および細則を制定し、複数のルートから環境NGOの発展を促進する。 グリーン学校、低炭素コミュニティ、グリーンデパート、グリーンキャンパスなどグリーンユニット建設活動を行う。 省エネ排出削減家庭モデルプロジェクト。 「低炭素村」建設活動を行う。
公衆自身利益保護仕組み整備プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 隅々をカバーするクレームプラットフォームを整備し、環境矛盾・紛争・リスク評価システムを整備する。 公衆のために環境侵害法律援助プラットフォームを整備する。 公衆参与基金を設立する。
公衆が環境監督管理に参加する仕組みの構築プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 政府環境行為に対する公衆監督プラットフォームを整備し、公衆—政府—企業のインタラクションメカニズムの健全化を達成する。 公衆が建設プロジェクトの環境影響評価に参加する仕組みの規範化を達成する。
公衆が環境政策決定に参加する仕組みの構築プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 公衆が環境立法に参加する仕組みの健全化を達成する。 コミュニティ環境保護調停者の仕組みを整備する。





2. 2010年モデル都市活動内容のまとめ





1. モデル都市計画は国家高級専門家の論証を経て組織的に確実に実施する

環境保護部環境計画院は全体計画の作成を担当し、特別計画を関係者に作成させることで、国内外の幅広く優秀な各大都市の先進的経験を参考にした、国際的で前向きな高水準モデル都市の全体計画および確実に実行可能な特別計画を作成し、瀋陽市が国家環境保全モデル都市を創設する上での戦略的考え、指導方針、発展目標、達成ルートおよび重要な任務を提出し、全面的かつ科学的に国家環境保全モデル都市創設活動を指導した。市の指導チームがモデル都市事務室を組織して、計画に従って「瀋陽市国家環境保全モデル都市創設活動計画」を作成し、「1都市、4区、5つのモデル、100プロジェクト」の環境モデル都市創設の全体的な考えを定めた。

計画作成顧問は、中国科学院、中国社会科学院、環境保護部、国務院発展研究センター、国家発展改革委員会エネルギー研究所、清華大学、東北大学の7機構から、4名の院士(中国科学院と中国工程員の会員)と9名の研究員で構成した。





2. 積極的に外部の支持を獲得し、建設作業の推進加速に資する

1年にわたり、市環境保護局、発展改革委員会、科技局など関係部門が国、省および関係者によるモデル都市創設活動への支持を求めた。国家発展改革委員会は、当市を全国循環型経済試験都市として扱い、当市で全国初の環境保護基金の設置を支持し、条件に適合する資源リサイクルプロジェクトに資金支援する予定。環境保護部は、川崎・瀋陽環境保護協力事項を中日循環型経済政策対話と中日循環型都市協力の枠組みに取り入れ、さらに中日両国間の川崎・瀋陽環境保護協力覚書を徹底的に実施し、瀋陽によるエコ工業園区(静脈産業類)の建設を支持する。省環境保護庁は、モデル都市、大渾南新区の建設を環境保護部・遼寧省協力枠組契約に取り入れる。省財政庁、環境保護庁は、3年以内に4.25億元を全市の農村環境総合改善に利用し、今年は1.2億元を蒲河流域水汚染改善と渾南白塔堡河汚染改善に利用することを定めた。日本のJICAによる中日静脈産業エコ工業園区建設への180万円の援助資金の獲得に取り組む。また、省科技厅、市科技局は、既に特別資金を用意して、関連課題の研究を組織している。





3.モデルプロジェクトの創設を確実にし、創設活動の深化を導く

モデルプロジェクトでモデル都市創設を推進する考えに従い、当市は、各産業および社会事業分野の環境建設の長所と短所を選定し、モデルプロジェクトを切り口として、現地の状況と現状に応じて有利な方向へ誘導し、モデルプロジェクトのモデル効果と牽引力を十分に活かして、モデル都市創設を絶えず推進した。当市は、関係部門と専門家による住みやすい環境、エコ工業、静脈産業、低炭素経済、グリーン政府、公衆参与の6分野における約200の項目に対し視察・調査研究を行い、プロジェクト規模、設計理念、技術製法、建設水準、運営状況などが全国水準に達し、国内の同類プロジェクト創設の指標としての役割を果たすことを原則として、蒲河エコ回廊総合改善工事、北方重工、遠大グループなど27のモデルプロジェクトを確定した。同時に、モデルプロジェクト活動計画の仕組みを研究・確定し、「瀋陽市国家環境保全モデル都市・モデルプロジェクト創設活動計画」を配布し、プロジェクト創設を着実に推進、牽引とモデル効果を確実に活かす。





4. 積極的な公衆参与パターンを、革新で著しいグリーンユニット構築成果を

瀋陽大学による「盛京環境保護フォーラム」が開催され、昨年は国内外で有名な専門家による講義を延べ11回行い、好評な反響があった。全市で組織したグリーンユニット構築活動は活発で、今年には**70**のグリーンコミュニティ、**2**の低炭素コミュニティ、**152**のグリーン学校が建設され、遼寧省環境友好型学校は**52**校を推薦した。

5. 国家級環境工業園区建設のスタート

中国科学院瀋陽エコ応用研究所に瀋陽経済技術開発区、渾南新ハイテク技術開発区、および航高基地環境工業園建設計画の作成を委託した。同時に、環境保護部と積極的にコミュニケーションを取り、上記地域で国家級環境工業園プロジェクトを確立するためにさまざまな準備作業を行った。





3. 2011年モデル都市活動計画



瀋陽市環境保護局

SHEN YANG ENVIRONMENTAL PROTECTION BUREAU OF CHINA



1. モデル都市計画の推進加速と関連実施プランの確実化

2011年全市モデル都市作業大会を開催し、責任状などの方式を通じて任務を明確にし、モデル都市計画と「1都市、4区、5つのモデル、100プロジェクト」の関連実施プランを各関連地域、部門に確実に実施させ、活動を監督・協調・指導する仕組みを強化する。大渾南新区計画および建設と緊密に一体化させ、融合した計画設計を実現し、同時期に施工建設を行い、運営時よりモデルになるようにする。全体計画と特別計画に対し段階的で適時の評価を行い、適切に計画目標と任務を調整する。





2. モデル都市モデルプロジェクトの創設

異なる分野で適用する先端技術の普及チャンネルとルートを広げ、モデルプロジェクトを踏み込んで発見または育成し、全市で環境モデル都市創設の推進を牽引する。大渾南瀋陽新城および低炭素全国運動村における体育館建設工事を推進し、蒲河流域エコ環境改造工事を実施し、現代建築産業園およびそのモデル工事の追跡サービス作業に取り組み、国家レベルのグリーン建築を推進すると共に、純電気、天然ガスなどのクリーンエネルギー路線バスの路線を設置し、「地下鉄＋路線バス＋自転車」の低炭素グリーン外出モードの発展を推進する。また、引き続きグリーンユニットの構築、エネルギーサービス合同試験の推進、グリーン政府(機関)の創設を指導、公衆参与モードと媒体などを革新する。





3. 国家級エコ工業園区創設の確実な推進

国家戦略である瀋陽新型工業化総合改革試験区との機会を緊密に掴んで、当市の実施プランと工業園区建設に合わせて、エコ工業理念による工業園区の計画・創設と改造・改善に取り組み、工業化で情報化を促進することを実現する。2011年以内に張士、渾南、欧州連合工業園の国家プロジェクトを確立し、現代建築産業園および泗水科技城工業園区計画の作成を組織する。





4. 国際交流と協力のさらなる開拓と深化

米国、ドイツなど先進国との環境建設分野でのコミュニケーションと連絡を強化し、モデル都市創設に有益な知的支持とプロジェクト協力の獲得に取り組む。瀋陽・川崎環境友好型都市協力覚書の枠組みの下に、各関係者による瀋陽市環境保全モデル都市創設への支持を獲得する。JICA静脈産業環境工業園試験プロジェクト作業に取り組む、瀋陽と川崎との間の研究開発活動の実施および資源再生産業の発展を共同で支持する。日本のJFE、ASKを初めとして、日本の先端的な静脈産業技術と企業を積極的に導入し、省エネ・環境保護産業を重点とするプロジェクト協力チャンネルを構築する。中日循環型経済研究センターの活動を推進し、循環型経済技術の研究開発と備蓄を強化し、当市の循環型経済・都市シミュレーションシステムを整備する。また、国連環境計画・瀋陽エコ都市プロジェクトの実施を推進する。





5. 当市省エネ・環境保護産業の飛躍的な発展の推進

遼中近海経済区・環境保護産業基地、張士経済技術開発区、および瀋北新区を重要な突破口として、国内外の協力と投資誘致を強化し、当市省エネ・環境保護産業の大規模かつ急速な発展を推進する。対外経済貿易局など関係部門と共同で、関係区・県と日本、フランスなど外国との交流および協力折衝作業を完成し、「中仏環境保護産業園」と「中日環境保護産業園」などのプロジェクトについて実質的な進捗を獲得することを確保する。2011年末までに、遼中環境保護産業基地で3000万元超のプロジェクトを30件超導入し、年間新規着工企業が20社に達し、年末に新たに生産を開始／試作する企業が20社に達するように取り組む。同時に、日本ASK産業園区建設プロジェクト、三井物産輸入廃棄家電分解プロジェクト、島文廃棄金属高付加価値加工プロジェクト、中天屋「輸入第7類」分解加工プロジェクト、JFE廃棄ペットボトル高付加価値加工プロジェクト、シンセン嘉達柔軟セメントハイテク製品プロジェクト、青海潔神と浙江富倫、湖南万容環境保護設備製造プロジェクト、青島新天地国内廃棄家電処理プロジェクト、瀋陽新興銅業廃棄銅高付加価値加工プロジェクトの速やかな獲得と着工に力を尽くし、2011年に産業基地のプロジェクト生産能力が100億元に達することを確保する。

